

共生・公正・創造
 共生の精神のもとに、心
 とところをつなぎ、次代
 につながる公正な社会を
 創ります。

JR東日本労働組合 東京地方本部 東京地本

JR東日本労働組合
 東京地方本部
 東京都千代田区鍛冶町2-11-11
 発行者・福田 高夫 編集者・室岡 圭司
 TEL(NTT)03-3251-2191 (JR)057-2292
 FAX(NTT)03-3251-2192 (JR)057-2292

常磐線被災エリア現地踏査研修に参加して 未だ原発事故で漏れ出している放射線の中で働く仲間たちが苦勞している！

11月6日、7日、常
 磐線被災エリア現地踏
 査研修に参加しました。

意見交換会



水戸地本との仲間たち
 との意見交換では、

- ・6年経ったが風化させ
 てはならない。
- ・原発の現状すら把握で
 きていないのに、なぜ安
 全と断言できるのか。
- ・原発事故の被害と津波
 の被害その両方を見てほ
 しい。
- ・常磐線 相馬、浜吉田
 間は12/10に開通予定、
 試運転が始まる。
- ・竜田、小高間は202
 0年春に開通予定(原発
 付近は通過の予定)
- ・オリンピックへのデモ
 ンストレーションなのか？
- ・走ればOK的に感じて
 しまう。
- ・想定出来る事態にも対
 応は出来ない。
- ・希望者には線量計が貸
 与されている。線量計の
 数値は職場のPCを通さ

ないと思えない。
 ・HOT SPOTだけ
 でなくとも衰えない線量。
 線量は、足し算。
 ・この線量の中で「仕事」
 をするということが大丈夫
 なのか。
 ・「被ばく」しながらの
 仕事。
 ・補償金の問題、大きな
 格差が生じている。
 ・高速道路も国道も「自
 己責任」となっている、
 交通事故が発生したら救
 急車も困難だ。
 ・「自己責任」だとすれ
 ば、そこで「働く人」
 はどうなのか。
 ・除染はしたけれど、エ
 リアの線量が減ったわけ
 ではない。
 ・フレコンバックが2段
 3段に積み重ねられてい
 る。
 ・帰村宣言以降帰村した
 方々は、10%程度。

現状の把握

竜田駅、富岡駅、新町
 駅、駒ヶ嶺駅を見学して
 きました。
 0.134 Sv
 hの数字を常磐道の線
 量計は示していました。
 高速道路も国道も「帰還
 困難地域」を走行すると
 きは、窓を開けて何かあつ
 ても自己責任ということ
 や二輪車の通行不可は、
 昨年と変わりはありません



天気も良かったのに洗
 濯物も干されてなく、生
 活感を感じません。
 国道沿いは、コンビニ
 が増えていました、警察
 関係者と工事関係者相手
 の営業のようでした。
 竜田駅と富岡駅の工事
 現場には線量計が設置さ
 れています。

富岡駅は、がれきの撤
 去と復興計画に基づいて
 駅周辺と線路を越える跨
 線橋、道路の工事が行わ
 れていました。

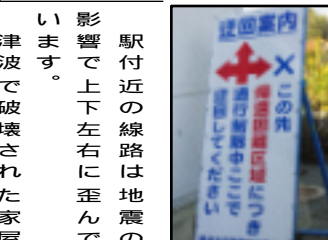
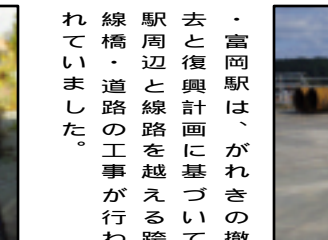


竜田駅は、業務委託駅
 で先輩が業務を担ってい
 ます。
 いわきからの折り返し



駅になっていきます。
 竜田駅以北に向かう方々
 は、代行バスなどを利用
 しています。

復興に向けて各地で、生
 活を営むために新たな防
 潮堤に守られた街が創造
 されています。



駅付近の線路は地震の
 影響で上下左右に歪んで
 います。
 津波で破壊された家屋
 や店舗に突っ込んだまま
 放置された車も撤去され、
 整地されています。
 新町駅は、津波の被害

で流失しました、
 線路は内陸側に移
 動し、新たな駅舎
 とロータリー、幹
 線道路など周辺開
 発の工事が急ピッチに
 行われていました。
 津波の被害は、千葉・
 茨城・福島・宮城・岩手・
 青森の太平洋沿岸で甚大
 なものになりました。
 復興に向けて各地で、生
 活を営むために新たな防
 潮堤に守られた街が創造
 されています。

工事現場に立つと、海
 岸線までは大分距離があ
 り、「ここまで来たのか」
 「そんなにすごいのか」
 と感じます。
 不通区間は、代行バス
 が運行しています。

駒ヶ嶺駅は、無人駅で
 試運転に向けた注意事項
 が掲出されていました。



新町駅は、津波の被害

研修に参加して

昨年に続いたの現地踏
 査となりました。放射能
 に対するこわさが無くな
 りも軽減もされはしませ
 ん。「慣れ」とか「仕
 方ない」などで片付ける
 訳にはいきません。

会社はいくら出してくれるかなあ？ではなく 会社はいくら出させるか！だ！ 年末手当申し入れを行っ！

第1回目交渉

10月19日、本部は申
 第1号、2016年度
 年末手当に関する申し入
 りを経営側に提出しま
 した。

11月4日、中央本
 部は「2016年度年末
 手当に関する申し入れ」
 の第1回団体交渉に臨み
 ました。今交渉では、お
 もに組合からの要求の趣
 旨説明を行い満額回答を求
 めました。
 対する経営側は業績動
 向などの現状認識を示し
 ました。

第2回目交渉

11月10日、中央本部は
 「2016年度年末手当
 に関する申し入れ」の第
 2回団体交渉に臨みま
 した。今交渉で経営側は
 「景気の先行き不透明感」
 など、ネガティブ要素を
 強調し、「人件費を含めた
 経費のコントロールを確
 実にしたい」という姿
 勢に終始しました。そ
 れに対して交渉団は、四
 半期の業績を基本にJR

単位	億円	対前年比
営業収益	10,418	+40
運輸収入	9,179	+22
人件費	2,311	49
営業利益	2,424	144
経常利益	2,186	137
純利益	1,528	53

内部留保は年度末決算か
 ら約1,000億円増加！

会社回答

グループで働くすべての
 社員に「要求の満
 額回答を頼るべきだ」
 との主張を展開しました。

11月17日経営側から回
 答が出されました。本部
 は「好調な業績に対する
 正当な配分」「社員の生
 活環境の変化に対する認
 識」など求め、「感謝
 の言葉ではなく要求満額
 で応えるべきだ」と主張
 しました。しかし、経営
 側「第2四半期決算」の
 減益などネガティブな事
 象をクローズアップし、
 さらに最終回答である
 したため、本部交渉団は
 持ち帰り検討。私たちが
 要求とはかい離があるも
 のの「社員の努力に感謝
 の姿勢」「最終回答とし
 ている」ことなどから、
 妥結する判断をしました。

2016年度年末手当 会社回答！
基準内賃金の3.18ヵ月 (12月5日準備でき次第)
 55歳以上の社員(2016年10月1日現在)の年末手当とエルダー社員およびグリー
 ンスタッフの精勤手当に一律5万円加算要求については口頭で
「現行の水準で妥当」「取り扱いを変更する考えなし」との回答

この悔しさをバネにし
 て全組合員で次の春闘へ
 闘いをつなげていきましょ
 う。

運転区連合分会第4回 定期大会開催

10月13日、中野電区講習室において、運転区連合分会第2回定期大会が開催されました。大会は分会組合員7名全員の参加のほか、OBから3名に出席いただき、和やかな中にも、真剣な議論が交わされました。

主な議論では、エルダー制度が会社対個人になっているため改善の闘いが進められない。本音を出し合う場が必要。安全問題について、最近会社は事故が起こると個人の資

質を問題にしている。人間はミスをする存在である、という安全問題の前提が抜け落ちている。などといった意見が出されました。

執行部から問題解決に向け、組織を超えて取り組んでいく決意が述べられ、新執行委員長の団結カンパニーで終了しました。

新執行部は次の通りです。
 ・執行委員長 伊藤浩司
 ・執行副委員長 豊田篤史
 ・書記長 難波剛



・会計監査員 内谷仁

どのが出ました。連合分会もこれから、組合員が減少していく中、組織拡大に向けてガンバロウで終了した。終了後に分会旅行を楽しみました。

分会役員
 執行委員長 依田匡一
 副執行委員長 田口正孝
 書記長 鈴木英治

第4回エルダー組合員協議会開催

10月29日に第4回エルダー組合員協議会が開催されました。冒頭に中村事務局長より開会の挨拶と、エルダー職場での問題点等を出していただき、今後の対策に向け行動していくことの提起を受けました。東京地本からは、斉藤執行副委員長と依田執行委員、退職者連絡会からは橋本会長が参加し、来賓として御祝いの挨拶をいただきました。

エルダー職場での問題点として何件か発言がありました。東京駅の京葉線改札で働く組合員からは、13時から20時まで中央線のライナー券売機保守等の仕事量が増えているのが現状である。また、駅では要員体制が今後減少する可能性があるなどの意見が出されました。

・2016年度本部新役員体制

役職名	氏名	出向会社名	職場名
会長	石崎 孝男	(株)JR東日本グリーンパートナーズ	東京支社
副会長	長谷川 守	エスシーエイビー(株)	東京駅
事務局長	中村 民雄	JR東日本ステーションサービス(株)	東京駅
幹事	清野 紀男	JR東日本ステーションサービス(株)	シーエスピー
幹事	菊地 久明	東京臨海高速鉄道(株)	臨海鉄道
幹事	浜野 清蔵	JR東日本ステーションサービス(株)	駒込駅
会計	長谷川 守	エスシーエイビー(株)	東京駅
会計監査	瀬田川 誠	JR東日本ステーションサービス(株)	上野駅

第4回新宿駅連合分会大会開催

10月9日、地本会議室に於いて、分会大会を開催しました。組合員5名が参加しました。地本から郷書記長が参加して頂き情勢の報告と取組について提起をされ、各職場での問題点、気づきな



申第1号「地本大会発言に基づく申し入れ」

- 1.6月に発生した常磐線松戸・北松戸間での電車と作業用トロッカーが衝突した事故は、事故を教訓化することの難しさを露わにしました。この間の事故を教訓にした安全対策を支社・現場間のみならず、パートナー会社との間においても再度議論を作りだし、同種事故の撲滅に努めること。
- 2.社員のスキルアップや技術習得などのための研修は大切なことです。しかし、そのために担当する業務が滞ってしまつては本末転倒です。また、育児休職などの取得者が増えている。制度を不安なく活用できる体制が必要である。全系統の要員需給を明らかにし、適正な要員配置を行うこと。
- 3.湘南新宿ラインや上野東京ラインなどの開業により、他支社間の乗り入れが増えている。乗継詰所や休養室などの設備点検を適宜に行い、改善に努めること。
- 4.エルダー制度を受ける社員の、出向先決定が遅いと言われている。「ライフプランいきいきガイド」などで提示しているスケジュールにより行うこと。また、エルダー再雇用を希望する社員の不安を解消するため、再雇用先の要員需給を明らかにし、社員との意見交換をこまめに行うこと。

松戸地区駅連合分会 大会

11月11日、分会大会開催しました。内山執行委員長が挨拶し経過報告を斉藤書記長が情勢報告を行い職場の問題点などを出され地本で交渉等出来るものは検討したい。団結ガンバロウで大会は終了した。懇親会を行い盛大に終わった。

執行委員長 内山三男
 執行副委員長 川崎一正
 書記長 斉藤良治

第3回本部 ゴルフ大会開催

11月9日、高崎サンコー72カントリークラブに於いて、第3回本部ゴルフ大会を参加者85名で開催した。秋晴れのなか楽しくプレーをし、地本代表の狩谷孝さんは、おしくも連覇は逃しましたがベスグロ(39・42)81にかがやきました。



今後の行動予定

- 2017年1月 4日(水) 東京地本事務所開き
場所：地本事務所 11時から
- 2017年1月 21日(土) 東京地本旗開き
場所：ホテル・ラングウッド 11時から
- 2017年2月11日(土) 第4回中央委員会
場所：ホテル・ラングウッド 13時から
- 2017年2月25日(土) 共済推進・拡大分会代表者会議
場所：本部会議室 10時30分から

